

「日本の変革のためには地域の活性化、多様性を図ることが必要」という藤田教授の言葉には重いものがあります。土佐藩の郷土であった坂本竜馬が示した構想力と実践力を、これからの地方が展開していけるのでしょうか。そのためには、地方の可能性と醍醐味^{だいごみ}をかみしめる内なる力と、中央から発信される情報に振り回されない外に向けた確たる洞察力をたくわえていかなければいけません。(S.K)

今回の取材を通して感じたのは、地域が国の政策や施策に直接かかわっていくことの重要性です。そこでは、地域が主体的に地道な調査活動を行い、将来のビジョンを描き、それを国にも住民にも説得できる理論がしっかり構築されています。地方には地方の事情があります。でも、誰もが納得できる裏づけがあれば、地方の主張も受け入れられるはず。地方都市の再生には、受け身ではなく、地域が自ら取り組んでいくことが大切です。(M.S)

●「マルシェ：marché」とはフランス語で市場のことで、同音の「マルシェ：marcher」には歩む、行進する、進歩するという意味もあります。北海道（ノルド：nord＝北）が、多くの人々が集い、交流し、活気あふれる地域へ発展するようにとの願いを込めて、「開発こうほう」の地域経済レポート特集号として「マルシェノルド」（年二回、九・三月号を予定）をお送りします。地域を考えるきっかけとなるように、毎号、地域経済特有のテーマを取り上げてまいります。

●理解を深めるために……

Books

※対 談

『日本経済新聞』停滞打破には「廃央創域」
藤田昌久著／2003年1月29日

『日本経済新聞』途上国でも「ブランド農業」
藤田昌久・武藤めぐみ著／2006年9月12日

『道路』過疎地を変える道の駅
加藤文男著／2006年3月号

『北海道再生のシナリオⅡ』地方における大学発ベンチャーの取り組み
小磯修二著／財北海道雇用経済研究機構

※地域事例1 青森県青森市

『コンパクトシティ 青森市の挑戦』
山本恭逸編・著／ぎょうせい

『挑戦するまち 商業者の目線で実行するまちづくり』
加藤博著／オフィスJ

※地域事例2 富山県富山市

『富山港線の事業概要』
富山市

※地域事例3 帯広・北の屋台

『北の屋台繁盛記 北海道十勝の元気プロジェクト』
坂本和昭著／南プロット

※地域事例4 稚内市

『都市再生 REPORT No.14』
「全国都市再生」の取り組みと成果～日ロ友好最先端都市わっかない～
都市再生本部事務局

● マルシェノルド バックナンバー

- 第1号 「地域経済の自立に向けて」(99年9月25日発行)
- 第2号 「北海道ツーリズムを考える」(00年1月25日発行)
- 第3号 「都市と商業」(00年6月25日発行)
- 第4号 「循環型社会を目指して」(00年10月25日発行)
- 第5号 「地域とアート」(01年2月25日発行)
- 第6号 「地域とIT」(01年6月25日発行)
- 第7号 「北海道の食産業を考える」(01年10月25日発行)
- 第8号 「NPOのあり方を考える」(02年2月25日発行)
- 第9号 「北のものづくり」(02年8月25日発行)
- 第10号 「地域経済の自立的発展と観光産業」(03年2月25日発行)
- 第11号 「地域景観とまちづくり」(03年8月25日発行)
- 第12号 「地域と大学」(04年2月25日発行)
- 第13号 「北海道らしいエコツーリズムを考える」(04年8月25日発行)
- 第14号 「地域ブランドの時代」(05年2月23日発行)
- 第15号 「地域と医療」(05年8月25日発行)
- 第16号 「北海道発 産消協働」(06年2月24日発行)
- 第17号 「地域とスポーツ」(06年8月25日発行)